

桐生市下水道事業におけるウォーターPPP導入検討に関するアンケート調査

質問回答

番号	質問	回答
1	「桐生市下水道事業ストックマネジメント全体計画」が令和4年3月に制定されており、その中で管理・調査などの優先順位が示されております。ウォーターPPP導入時には本計画に基づいた進め方になりますでしょうか。	ご認識のとおりです。
2	ウォーターPPP導入時の業務対象としては、参考資料記載の処理場、ポンプ場、管路全てが対象となりますでしょうか。	ウォーターPPP導入検討では下水道事業における全ての施設を検討対象としております。 ウォーターPPP導入時の業務対象は、今回の市場調査結果も踏まえ、適正な対象施設を選定していくことを考えております。
3	境野処理区内に一部合流式(約541ha)が採用されていますが、合流管路の延長は汚水管路約241kmに含まれているのでしょうか。また汚水雨水管ともに延長、管種の明示はありますが、最大管径をご教示頂くことは可能でしょうか。	合流管路延長は汚水管路の中に含まれております。 最大管径は次のとおりです。 合流: 2200mm × 2500mm 汚水: φ 2000mm (処理場からの放流渠: 2700mm × 3000mm) 雨水: 6500mm × 3300mm
4	境野水処理センターは覆蓋されており、屋上は運動公園になっているかと思えます。改築工事の計画もありますが、上部運動公園を一時使用休止にすることは可能でしょうか。また改築工事に伴い一時休止する設備があるかと思えますが、休止中の代替え設備の設置など必要になりますでしょうか。	屋上運動公園について、改築に伴い一部撤去、一部休止することとなり、別箇所にて代替施設も検討します。 改築工事に伴う代替設備は、基本的には仮設設備になるかと思われませんが、詳細設計時に検討することを考えております。
5	使用料収入は2地区合計金額という認識でよろしかったでしょうか。	ご認識のとおりです。
6	参考資料 P7で検討対象として挙げられている2つの処理区(単独公共・流域関連)について、ウォーターPPPの導入に際しては、どちらか一方の処理区を選択する、ということになるのでしょうか。	今回の市場調査結果を踏まえ、適正な処理区の選定を行います。
7	参考資料 P21で管路・マンホールポンプ場ともに、修繕・故障件数が増加傾向にあることが分かります。ウォーターPPPの導入にあたり、増加傾向にある費用負担の基本的な考え方を検討されていたらご教示ください。	費用負担の考え方については、今回の市場調査結果も踏まえてリスク分担の検討を実施し、適正な費用負担の方針を設定することを考えております。

桐生市下水道事業におけるウォーターPPP導入検討に関するアンケート調査

質問回答

番号	質問	回答
8	参考資料 P32にある建設改良費の推移ですが、R5では「その他」の項目が増加しています。主な要因で結構ですので理由をご教示ください。	主に車両や備品関係の購入費となります。
9	貴市公表の「桐生市下水道事業 スtockマネジメント全体計画」では、2.3. 桐生市下水道事業の今後の方向性(4)段階的建設計画の策定として境野浄化センターのダウンサイジングの検討と段階的な再構築の検討が記載されております。 これについては、本ウォーターPPPの導入にあたり、民間事業者の業務範囲となる可能性があるかと解釈してもよろしいでしょうか。 または、将来的にDBOなどの手法を検討されるのでしょうか。	ご認識のとおりです。
10	維持管理の現状について、包括的民間委託などは実施しておられるのでしょうか。	包括的民間委託は実施しておらず、処理場、ポンプ場、マンホール形式ポンプ場において、仕様発注による運転管理の民間委託を行っております。
11	処理場・管路・ポンプ施設の各分野において更新実施型・更新支援型のどちらで考えておりますでしょうか。	今回の市場調査結果を踏まえ、適正な選定を行います。
12	事業の受託方法についてSPC・JVのどちらで考えられておりますでしょうか。	今回の市場調査結果を踏まえ、適正な選定を行います。
13	契約締結までのおおよそのスケジュールプランを教えてください。	次のスケジュールを想定しております。 R6～R7: 導入可能性調査 R8: 入札・公募準備 R9: 入札・公募、契約・引継ぎ R10: 事業実施
14	資料より処理場の汚泥焼却設備について現在休止中となっておりますが、今後の汚泥処理についての計画について教えてください。 広域利活用等	現時点では検討はしておらず、汚泥処理方式はストックマネジメント計画のとおり、濃縮+脱水、場外搬出を想定しています。